

令和3年度ワカメ養殖情報第4号（令和4年2月22日）

- ・2月8日～9日に岩手丸が実施した沿岸定線海洋観測時の0海里表面の栄養塩は、黒埼92 $\mu\text{g/L}$ 、トドヶ埼107 $\mu\text{g/L}$ 、尾埼115 $\mu\text{g/L}$ 、椿島130 $\mu\text{g/L}$ でした（図1）。
- ・船越湾吉里吉里漁場で2月15日に測定した表面の栄養塩は179 $\mu\text{g/L}$ でした。
- ・2月中旬の定地水温は、野田湾で6.7 $^{\circ}\text{C}$ （平年差-0.1 $^{\circ}\text{C}$ ）、船越湾で5.5 $^{\circ}\text{C}$ （同-1.6 $^{\circ}\text{C}$ ）、広田湾で6.9 $^{\circ}\text{C}$ （同-0.4 $^{\circ}\text{C}$ ）でした（図2）。
- ・葉長は、県央部地区で82cm（測定日：1月26日）、県南部地区で97cm（同：2月2日）でした（図3）。
- ・JAFICが発表した2月21日の表面水温分布図によると、5 $^{\circ}\text{C}$ 以下の冷水がトドヶ埼から椿島にかけて接岸しています。水温や栄養塩の変化を注視してください。

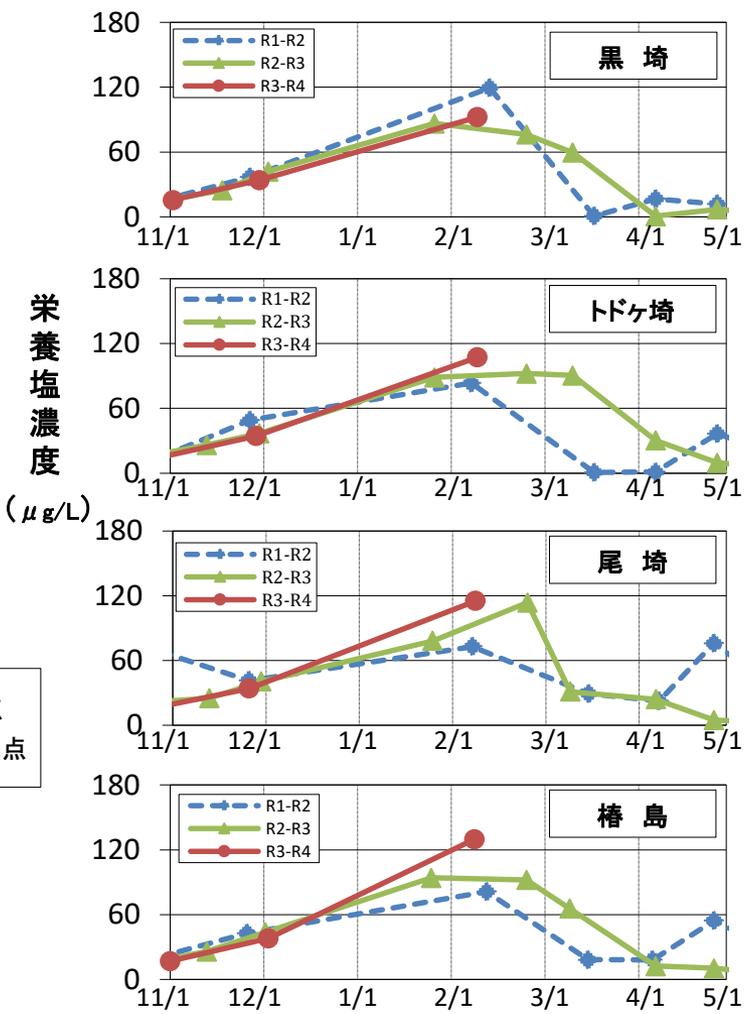


図1 0海里(表面)での栄養塩濃度の推移

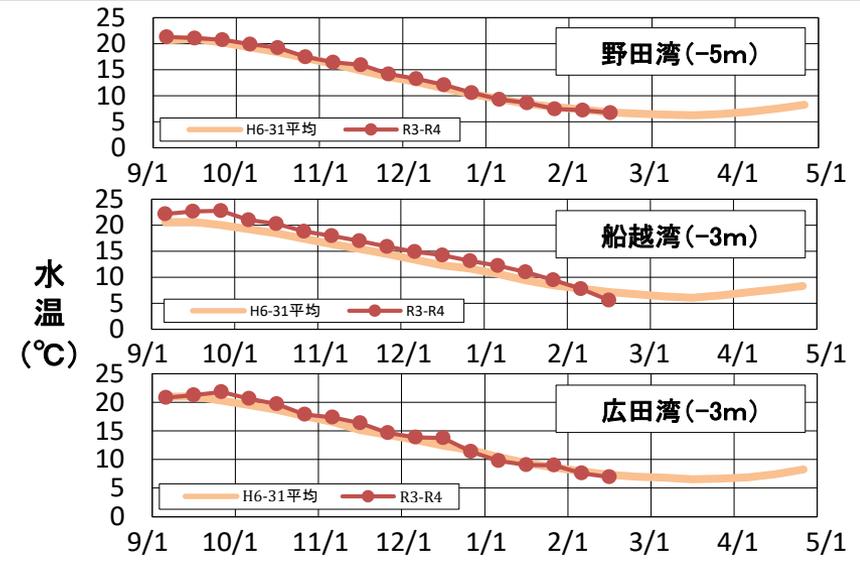


図2 旬別平均水温の推移(定地水温)

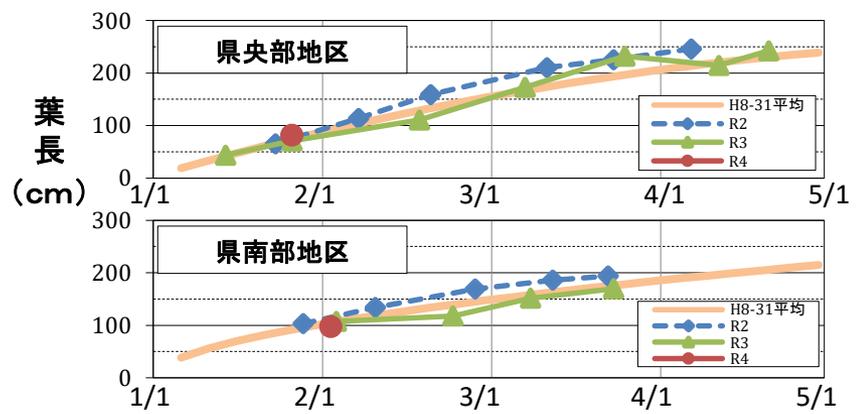


図3 ワカメ葉長の推移

○：栄養塩観測地点
●：定地水温計測地点

※地点図には国土地理院の基盤地図情報を使用

